

健康ぷらざ

No.330

企画:日本医師会

3歳児がめいっばい口をあけると直径は39mm… それ以内の物を子ども手の届くところに置く危険です。

39mm
(実寸)

はいはいを始めた赤ちゃんや2〜3歳までの幼児は、なんでも口にもっていきまます。

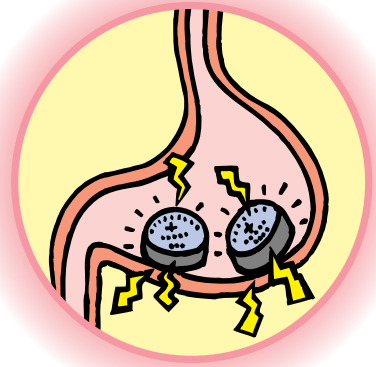
飲み込むと危険なものはいろいろありますが、ボタン電池や数個の磁石製品を飲み込むと、胃や腸などに穴があく場合があります。

まだ奥歯が生えていない子どもには、豆類(特にピーナッツ)や固形野菜はうまく噛みくだけません。誤って気管に吸い込む(誤嚥)可能性があります。

特に豆類は、気管をふさいでしまうので大変に危険です。食事中は遊ばせず、また驚かせないようにしましょう。

灯油を誤って飲んでしまった場合、無理に吐かせようとして肺に入ると、化学性肺炎を起こしてしまい、生命の危険があります。灯油ポンプの管理にはくれぐれも気をつけてください。

3歳以下の子どもがいる家庭では、身のまわりの小さいものや危険なものを片付ける手間を惜しまないようにしましょう。



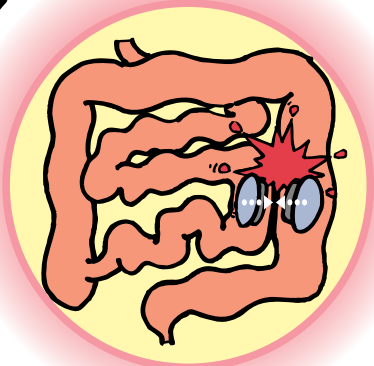
ボタン電池が胃に入ると放電によって胃の粘膜を傷つけます



鼻の穴や耳の穴にも入れないように!



気管にピーナッツが入るとまわりの水分を吸収して大きくなり気管をふさぎます



磁石製品が腸に入ると互いに引き合い腸壁に穴があきます

子どもがこんなしぐさをしたら要注意!

※異物を飲み込んで喉を詰めたときの世界共通のしぐさ

指導:北九州市立八幡病院院長/小児救急センター 市川 光太郎

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。